



昨年学部
開放授業の様子



令和5年 前期 学部開放授業 地域経営資源論



令和5年 前期 学部開放授業 南紀熊野の自然

学部 開放授業のご紹介

東牟婁地域の自然

講師 此松昌彦・古賀庸憲・高須英樹

この授業では、東牟婁地域の串本町から那智勝浦町にかけての沿岸部や丘陵部などの地質・地形、磯や干潟の生物、植生を観察します。さらに、田辺市中辺路町の常緑樹木のモミ、ツガ林など内陸山地の植生についても観察します。

この地域は、南紀熊野ジオパークに認定されており、貴重なジオサイトの観察を行います。和歌山県南部には多様な地形・地質が存在し、その上に多様な生物がいることを理解できるようになることを目標とします。

開催日時 5/11(土)、5/12(日)、6/2(日)、7/20(土)、7/21(日)

紀州の食とマネジメント

講師 出口竜也・此松昌彦・鈴木裕範

この授業では、紀州（特に紀南）の食文化とそれを支える産業の歴史変遷、現状、そして今後の課題と展望について多角的に明らかにすることを目的としています。2013年に、「和食日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、その価値の高さが世界的に評価されています。こうした日本の食文化を紀州の視点から解き明かすことで、その価値を再認識するとともに、マネジメントの視点から持続可能な仕組みを検討します。

開催日時 5/18(土)、5/25(土)、5/26(日)、6/22(土)、6/23(日)

熊野祭礼学

講師 吉村旭輝

熊野を含む紀伊半島では、ありとあらゆる地域に祭りや祭礼が存在しています。特に、熊野三山を有する熊野地域では三山の大祭礼をはじめ、多様な祭礼形態がみられます。

この授業では、熊野三山、農漁村、都市での熊野の祭り・祭礼をその歴史的に講義で概観したうえで、近年の過疎化や少子・高齢化といった地域の現代の問題にも触れ、実際に田辺祭に参加し、実践的な民俗学として、熊野における祭礼の実態を学びます。

開催日時 6/30(日)、7/7(日)、7/23(火)、又は24(水)

大学院 授業のご紹介

開発経済学

講師 金澤孝彰

アジアおよびサブサハラ・アフリカ地域を主たる考察対象地域として、それらの地域での貧困問題解決につながる産業分野での技術革新や集積の効果について考察していきます。

- 第1回 貧困問題の解決を目指す開発経済学(農業の特性)
- 第2回 製造業の特性、技術移転と農業発展
- 第3回 技術移転と工業化、産業集積の発展

開催日時 5/11(土)、5/18(土)、5/25(土) いずれも 13:00 - 17:00

産業組織論

講師 田村正興

産業組織論とは、価格付け・参入阻止・カルテルなどの企業戦略の効果について分析するミクロ経済学の応用分野です。

この授業では、分析対象を企業戦略のうち特に価格付け(プライシング)に絞って、論理的になりすぎることなくビジネスにおける実例を考えることで、実務にも「役に立つ」ような経済学的思考法を身につけることを狙いとしています。

- 第1回 プラットフォームビジネス、価格差別戦略1
- 第2回 費用とは、価格差別戦略2
- 第3回 行動経済学と価格付け

開催日時 6/22(土)、7/13(土)、8/10(土) いずれも 13:00 - 17:00

サテライトからの メッセージ

和歌山大学南紀熊野サテライトは、南紀エリアの地域や社会の課題に向き合う学部開放授業と、より専門性の高い大学院授業を開講しています。学生を含めて様々な世代の方と交流し、語り、知識を深めてみませんか？
皆さまの受講をお待ちしております。

受講生の声

講師陣の幅広さが良く、刺激的で未知の内容も多く勉強になった。
(50代男性)

エリアマーケティングの必要性を学べ、将来の自分の進路にとても役立つ講義だった。
(男子高校生)

経済、経営などの様々な視点から学ぶことができ、有益な情報が得られた。
(女子高校生)

